

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院循環器センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2013年1月1日～ 2013年12月31日の間に、下肢深部静脈血栓症のために虎の門病院生理検査室にて、下肢静脈エコーを受けられた方

【研究課題名】

膝下深部静脈血栓症の臨床的検討

【研究の目的・背景】

《目的》

膝下に限局する血栓症に対する抗凝固療法は、経験上不要であることが多いと思われます。本検討では抗凝固療法が肺塞栓発症など血栓に関連した疾患の発症抑制に与えるかの検討を目的としております。

《研究に至る背景》

膝下に限局する血栓に対する抗凝固治療は未だ定まった見解が無く、後方視的観察により、抗凝固治療の予後に与える影響に関して検討し、今後の抗凝固療法のあり方を見極め日常臨床に還元いたします。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2020年6月22日 ～ 2021年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院循環器センター内科 児玉 隆秀のもと研究終了後 5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

今回は単施設研究であり、情報を虎の門病院外へ持ち出すことはありません。

【利用する診療情報】

診療情報： 下肢エコー検査データ、採血検査データ、診療記録、心電図、MRI 画像データ、
CT データ、薬歴、看護記録

【虎の門病院における研究責任者】

循環器センター内科 部長 児玉 隆秀

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2020年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 循環器センター内科 部長 児玉 隆秀

電話 03-3588-1111(代表)